

保谷駅前公民館

小学生の楽しいもの作り
お手玉を作る・おさいほうから・むずかしいわざへ

お手玉を布からぬって完成させます。できたお手玉を使って一つ・二つ・三つとお手玉の数を増やして、難しい技に挑戦する体験をします。

▼材料費一人200円(当日集めます)
 ▼持ち物縫い針と糸(2色)ハサミ
 ▼申込12月5日(月)10時から
 電話で保谷駅前公民館へ

▼ところ 保谷駅前公民館
 ▼対象 市内在住・在学の小学生(3年生以下は、保護者が一緒に参加してください)
 ▼定員 20人(申込順)
 ▼講師 高橋友子(社会福祉法人ピースフラー代表)



保谷駅前公民館

ドキュメンタリー映画を通して「今」を考える
「犬と猫と人間と」(2009年 監督:飯田基晴)
 いのちをめぐる旅が始まる

「ペット天国」日本で、処分される犬と猫は年間20万頭を越す。捨てられるも人間、救うために奮闘しているのも人間です。

▼とき 12月23日(祝) 10時~(118分)

▼ところ 保谷駅前公民館

▼対象 市内在住・在勤・在学者
 ▼定員 40人(当日先着順)

▼申込 当日、9時45分から受付をします。直接、5階集会所までお越しください。



© 2009.group Low Position

柳沢公民館

第29回 ロビーコンサート

今年度4回目のロビーコンサートを開催します。今回は、江戸前いぎの粋で気風きかぜのよい「江戸芸かっほれ」おしゃべりなバリッ子の歌シャノン、西東京市で一つしかない!?男声合唱団の素敵な歌声をお届けします。お楽しみに!

▼とき 12月17日(土) 19時~21時
 ▼ところ 柳沢公民館
 ▼出演団体
 保谷かっほれ道場
 シヤノン・ラ・メール
 男声合唱団アンサンブル・ステラ

※直接会場へお越しください。



谷戸公民館

第24回「谷戸まつり」に向けて
 実行委員会開催のお知らせ

「地域のふれあい」をテーマに始まった「谷戸まつり」は、谷戸公民館を拠点として活動している団体の発表や、地域の方々の交流の場として多くの人に支えられて24回目を迎えます。皆さんの参加をお待ちしています。

▼とき 別表のとおり
 土曜日 10時から
 ▼ところ 谷戸公民館
 ▼呼びかけ 第23回谷戸まつり実行委員会



※谷戸まつり開催日は平成24年4月21日(土)・22日(日)

回	月日
1	12/10
2	1/21
3	2/18
4	3/10
5	3/24
6	4/7

公民館利用者懇談会を行いました

10月に、市内6公民館の利用者懇談会が開催されました。この懇談会は、利用団体間の相互の理解を育む機会として毎年2回(10月・3月)実施しています。各懇談会では、公民館の利用方法や、施設の充実についての意見交換も行いました。

『公民館に関すること』
 ・3月11日に公民館が帰宅困難者を受け入れたことを公民館だよりで知った。対応について感謝する。
 ・災害時は公民館が避難所になる。公民館職員だけでなく市民が協力してサポートできるようにボランティアの組織化を提案したい。

『講座に関すること』
 ・各公民館の特徴を生かした特色のある事業を実践してほしい。
 ・自分たちサークルのメンバーが中心になり、お互いに講師となり学習会を開く工夫などをしてほしい。

公民館からは、主に①公民館利用に関すること②上半期の利用状況③主催講座について、お願いや連絡を行い、参加団体からは公民館への要望や、意見などをいただきました。それぞれ懇談会でお話された意見や事業についての要望などを職員で検討し、来年度の事業をはじめ公民館の充実に向けて、生かしていきます。以下は、各懇談会でお話された、主な意見・要望です。

・電力制限の中、各部屋に扇風機が配備され重宝した。
 ・今冬も節電が予想されるので、マット、ストーブ等の暖房器具があると助かる。
 ・東日本大震災で、人の絆の

・来年度の事業について、実行委員会のような形で市民が参加できないか。
 ・「原発」の検証と「グリーンエネルギー」について考察するよな講座を実施してほしい。
 ・親子でスキニップがとれるような事業に関心がある。

幸運な瞬間

顔の見える関係づくり

加藤 真理

公共施設予約システムが導入されて10年が経ちます。公民館の各部屋も自宅から予約できるようになり、決められた時間に公民館に向かなくてもよくなりました。多様な利用者にとって有益なシステムになったことは言うまでもありません。一方で、公民館を利用する利用者同士、また公民館職員と顔を合わせる機会は今後ますます大切にしなければならぬと思います。年2回開催される公民館主催の利用者懇談会も、互いに顔を合わせる貴重な場面です。

また市内にある公民館6館は、顔の見える関係づくりの一つとして、利用者を中心とした実行委員会形式で「まつり」やコンサートを開催しています。またロビーを利用して創作などの事業を行い、来館者の目に触れることで、会話が生まれ、誰もが気楽に事業に参加できる機会になっています。
 昔では次々と出される通信システムに人気が高まっています。確かに便利で豊富な情報を得ることができそうですが、今年の3月の大震災でその脆弱性を体験した人も多くいたのではないのでしょうか。繋がるときの安心感。それは機械を使った繋がりだけでなく、地域の人の関わりや声かけ…。公民館は、誰もが気軽に集える館です。学習や楽しみに触れながら顔の見える関係づくりに参加してみてください。